



# 仙台駅東まちづくり計画

住む・働く・楽しむ・学ぶが混在し  
多様なアクティビティがあるまち



トコト せんだい  
とこ・こと

仙台駅東（East）エリアを、住む・働く・楽しむ・学ぶ人にとって、E（良い）ことが起こる、E（良い）ところにしていきます

令和2年3月

 仙台駅東まちづくり協議会



## 目次

序 章 当該計画について.....	2
1. 仙台駅東エリアのまちづくり計画検討の必要性.....	2
2. 仙台駅東まちづくり協議会の設立 .....	2
3. 本計画の計画期間 .....	3
4. 本計画の対象範囲 .....	3
第1章 現状把握・課題整理 .....	4
1. 仙台駅東エリアの現状と特性 .....	4
2. 仙台駅東エリアの課題.....	17
第2章 まちの将来像と方向性.....	22
1. まちの将来像.....	22
2. 将来像実現に向けた方向性(4つのゾーニングと4つのネットワーク).....	23
3. 将来像を実現するための体系図 .....	30
4. 方向性をふまえた具体的な実現方策 .....	31
第3章 将来像実現に向けた取り組み .....	33
1. 将来像実現に向けたステップ .....	33
2. 想定スケジュール .....	34
3. 推進・連携体制 .....	35
4. 推進方策・制度活用 .....	36
5. 継続的・発展的な活動推進.....	37



# 序 章 当該計画について

## 1. 仙台駅東エリアのまちづくり計画検討の必要性

仙台駅東エリアは、昭和の時代からの都市基盤整備を経て、仙台都心の一翼を担う職住遊が近接するエリアへと大きく発展してきました。

シンボルロードである宮城野通周辺にはオフィスや学校施設などが多く立地しているとともに、市民の憩いの場である榴岡公園や、東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地スタジアム、仙台アンパンマンこどもミュージアム&モール、仙台サンプラザなどの大規模な集客施設が立



仙台駅東エリア全景

地しており、また、平成27年度の東西自由通路の拡幅などの効果もあり、仙台駅を中心に東西のまちがつながり、日々多くの人を訪れる地域となっています。

今後も、住む場所、働く場所として選ばれる地域であり続けるためには、歩いて楽しいまちであることや自分らしいワーク・ライフスタイルが実現できるまちであることなど、様々な社会ニーズにきめ細やかに対応しながら、仙台駅東エリアならではのまちづくりを、地域の皆さまと共に進めることが求められており、このエリアが目指すべきまちづくりの将来像や、その実現に向けた目標や方策などを検討し、地域の皆さまや行政機関とも共有する必要があることから、「まちづくり計画」としてまとめることといたしました。

なお、このまちづくり計画は、地域の意見として、令和2年度中に改定が予定されている仙台市の「総合計画」や「都市計画マスタープラン」の検討にも反映されるよう、令和元年度中に作成するものです。

## 2. 仙台駅東まちづくり協議会の設立

平成29年度より、宮城野通沿道の有志の皆さまが中心となり、計15回にわたり開催してきた「宮城野通り勉強会」での議論をふまえ、仙台駅東エリアの資源を最大限活用したエリアマネジメント活動(※)を地域の皆さまと共に実践し、日常的な賑わいの創出、安全・安心な住環境の形成並びに質の高い都市空間の維持・向上を図ることにより、当該エリアの価値を持続的に向上させることを目的として、令和元年8月2日に「仙台駅東まちづくり協議会」を設立いたしました。



8月2日の設立総会の様子

このまちづくり計画は、当協議会がまちづくりに取り組む際の基本指針といたします。

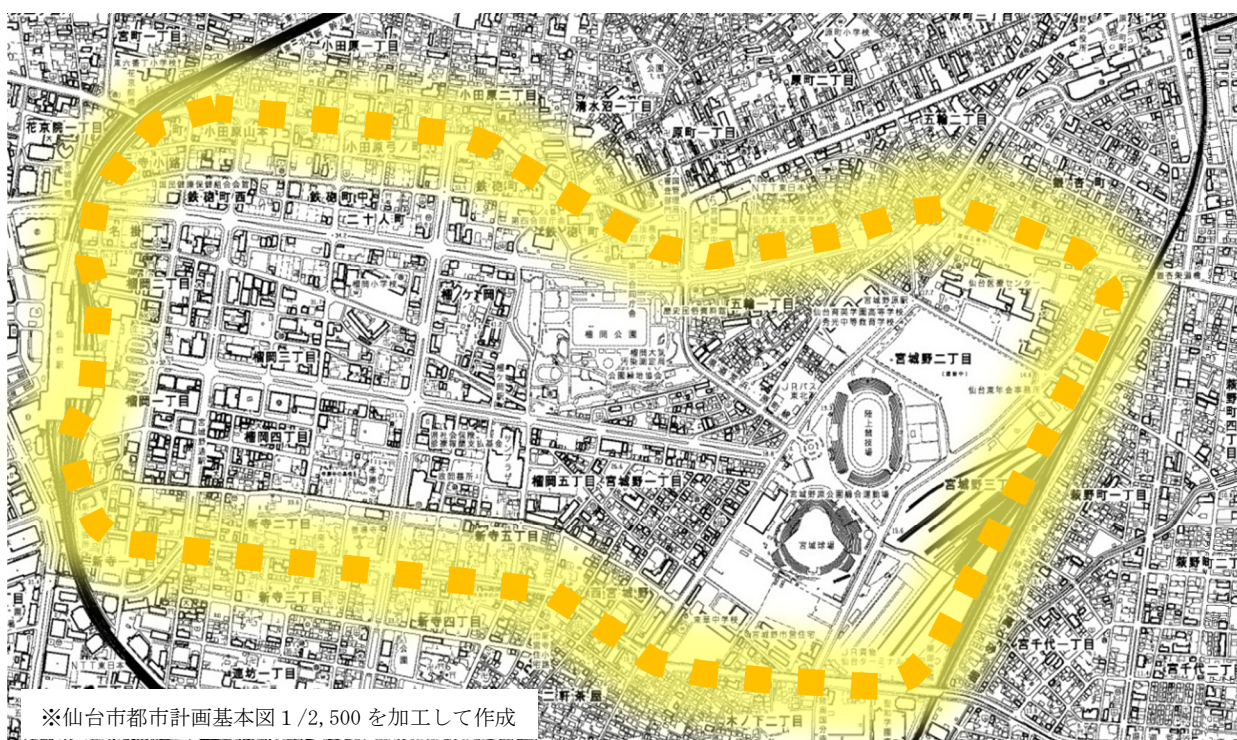


### 3. 本計画の計画期間

本計画の計画期間は、2020年度（令和2年度）から2029年度（令和11年度）までの10年間とします。

### 4. 本計画の対象範囲

本計画の対象となるエリアは、東西方向は、仙台駅東口から JR 貨物仙台貨物ターミナル駅までの約2 km、南北方向は清水小路多賀城線から国道45号線までの約1 kmの約240haのエリアを対象とします。



本計画の対象範囲（仙台駅東まちづくり協議会の活動エリア）

※エリアマネジメント活動とは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組みのこと（出典：国土交通省 土地・水資源局「エリアマネジメント推進マニュアル」）







## ②広域集客施設の立地

平成16年度に、宮城野原公園内の県営宮城球場が、東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地になってからは、試合開催時には大勢の野球ファンがまちに訪れるようになっており、また、平成23年度に開業した仙台アンパンマンこどもミュージアム&モールは、東北各県から年間約40万人が訪れる人気施設となっています。



県営宮城球場



仙台アンパンマンこどもミュージアム&モール

## ③地域活性化・まちづくりの取組み

令和元年度で17回目となった「夏まつり仙台すずめ踊り」をはじめとする様々なお祭りイベントが、宮城野通や榴岡公園などを中心に開催されており、季節の風物詩として地域の賑わいづくりに貢献しています。

また、宮城野通は、自転車道の整備の際、東北楽天ゴールデンイーグルスカラーのクリームゾンレッドで塗装したり、東北楽天ゴールデンイーグルスの応援フラッグやデザインマンホールを設置するなど、野球ファンのみならず、地域ぐるみで球団の応援に力を入れています。



夏まつり仙台すずめ踊り



榴岡公園の桜



宮城野通の交差点



楽天イーグルスのデザインマンホール



一方で、南北に通る東八番丁通では、「仙台アンパンマンこどもミュージアム&モール」から仙台市が寄贈を受け、歩道560mの区間や仙台駅東西自由通路の入口付近に計7体の石像を設置しています。

また、防犯対策にも力を入れており、仙台駅東活性化連絡協議会（平成27年設立）が実施主体となり、東口エリアの電柱20か所に防犯カメラを設置し、犯罪抑止に貢献しています。



アンパンマンのキャラクター石像



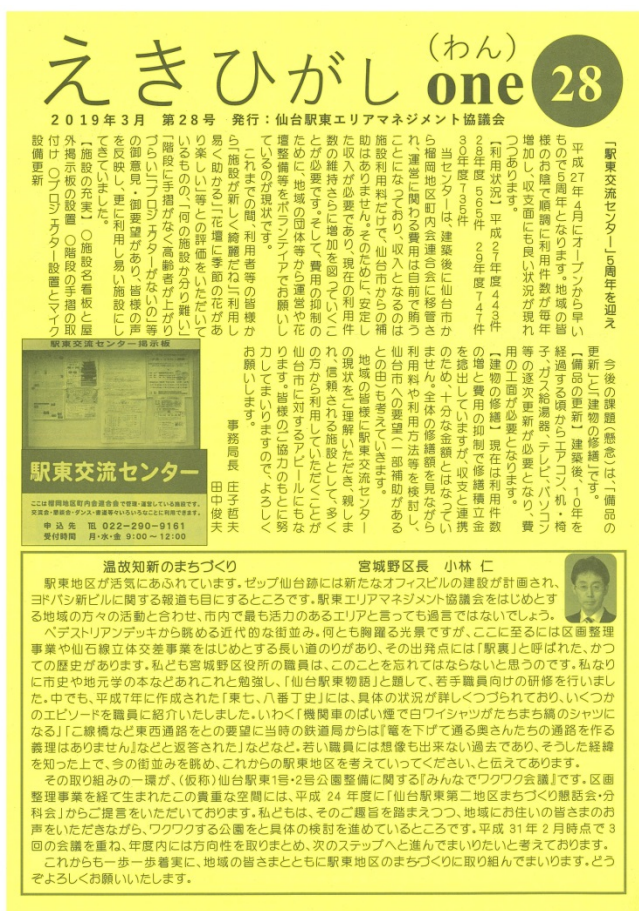
防犯カメラ



#### ④仙台駅東エリアマネジメント協議会による取組み

仙台駅東まちづくり協議会の設立に合わせ、その活動を継承した、「仙台駅東エリアマネジメント協議会（平成 26 年設立）」の取組みとして、広報誌「えきひがし ONE」による情報発信を行ってきました。地域のイベントや歴史、人物の紹介など、地域の情報を中心にこれまで28回発行しており、町内会や仙台駅東口商工業協同組合などの協力により、周辺地域に居住している方を対象に配布しています。（令和 2 年 1 月に仙台駅東まちづくり協議会の広報誌「ONE」としてリニューアル）

また、駅東交流センターを会場にした「七夕交流会」では、コーヒーやスイーツ、地場産品の豆腐や野菜などを販売したり、宮城野通沿道で開催した「仙台七夕」では、地元の皆様に制作してもらった「ミニ飾り」や「100 年七夕飾り」を飾り付けるなどの、コミュニティづくりに寄与するイベントを実施しています。



七夕交流会の様子



仙台七夕の様子

広報誌「えきひがし ONE」

#### ⑤まちづくりルール

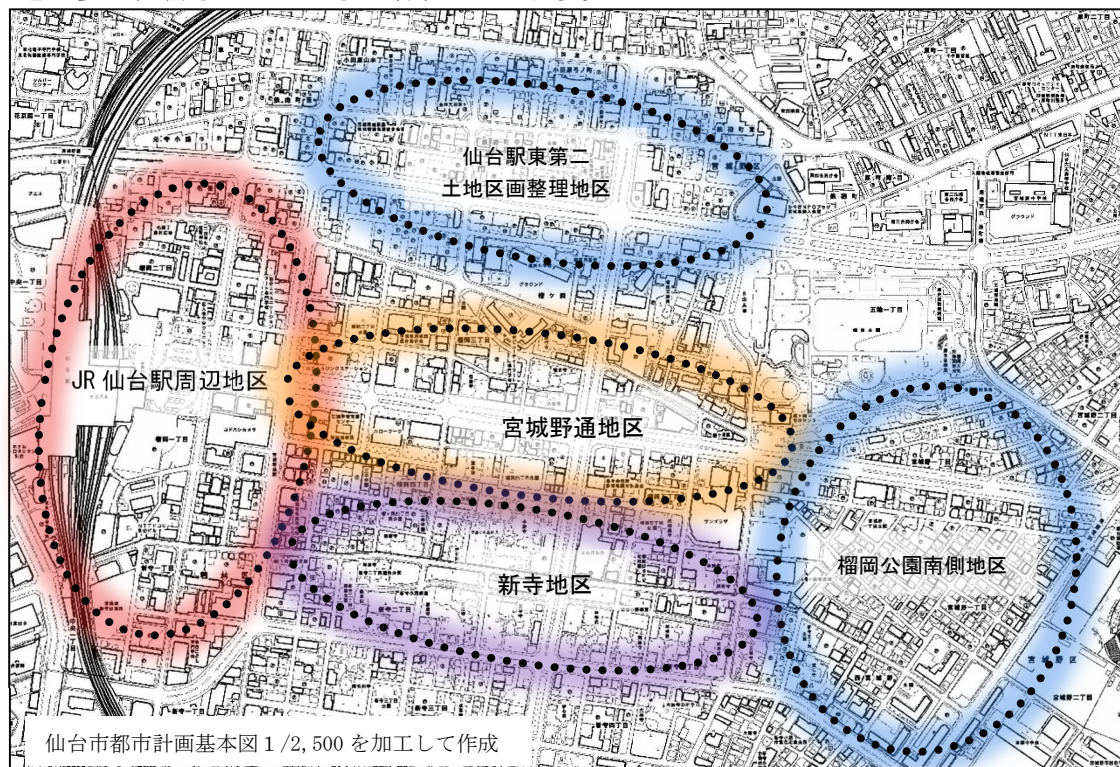
昭和 63 年に仙台市で 2 番目となる地区計画（宮城野通地区）を策定したり、平成 23 年度には、同じく宮城野通地区が良好な景観形成を図る地区として景観地区に指定されるなど、まちづくりルールを地域の皆さまと作り上げ、地区ごとに調和のとれた秩序ある街並みを維持してきました。





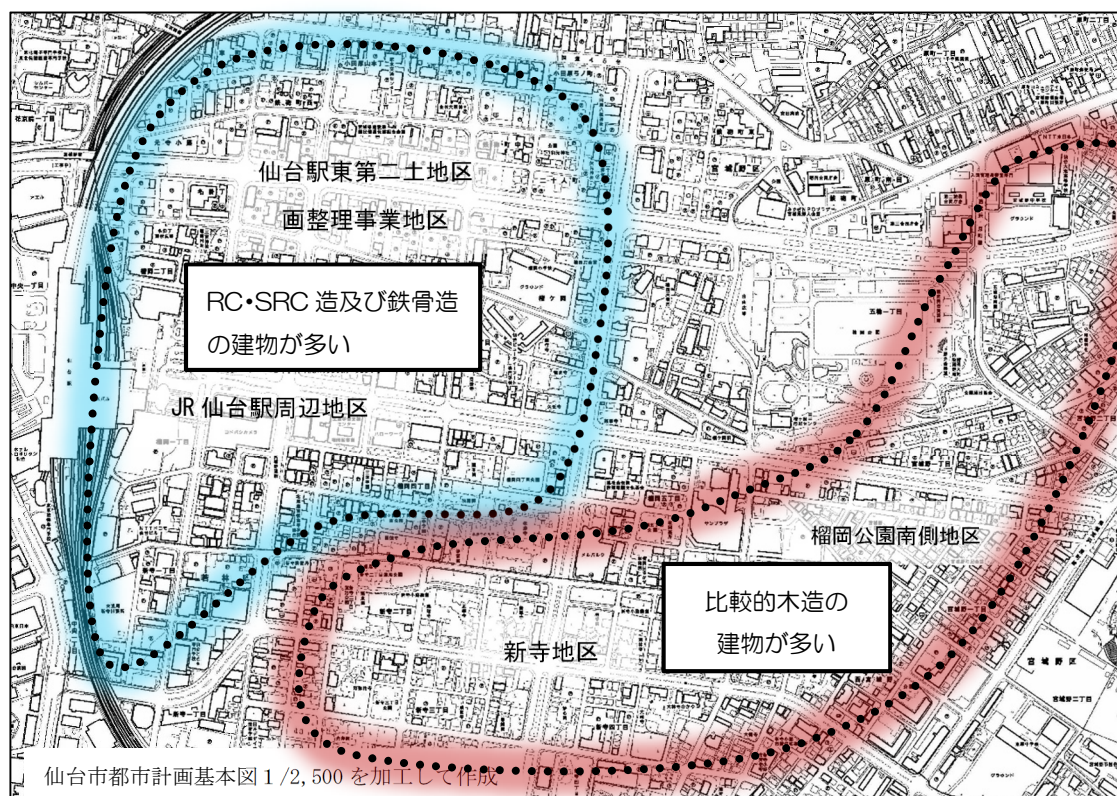
## ②-1 土地利用の現状（建物用途）

宮城野通を軸として、JR 仙台駅周辺地区に店舗、榴岡公園南側に住宅地、その西側に宮城野通を中心とした店舗、業務、宿泊施設が混在する地区があるなど、ゾーン毎に主用途が比較的分類し易いエリアです。なお、仙台駅東第二土地区画整理事業を行った地区は、マンション等の共同住宅が多く、新寺地区はお寺が集中しています。



## ②-2 土地利用の現状（建物構造）

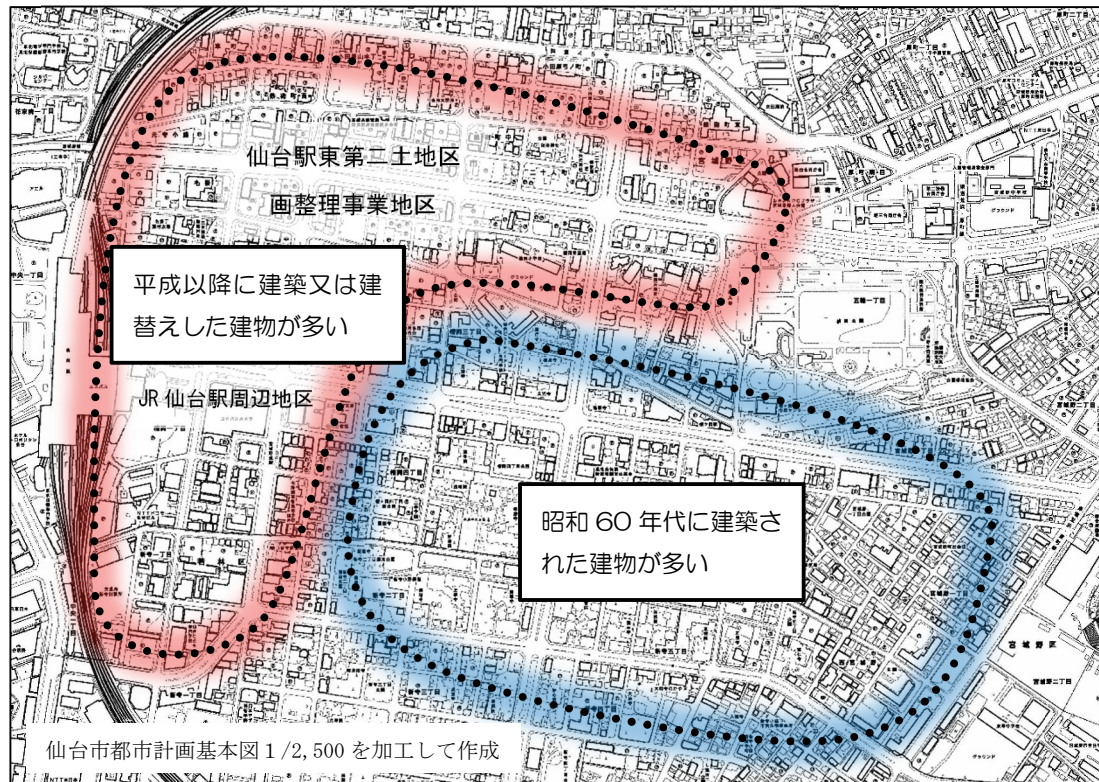
JR 仙台駅周辺地区、仙台駅東第二土地区画整理事業を行った地区については、RC・SRC 造及び鉄骨造の建物が中心で、榴岡公園南東側の住宅地、新寺地区は木造の建物が多い傾向です。





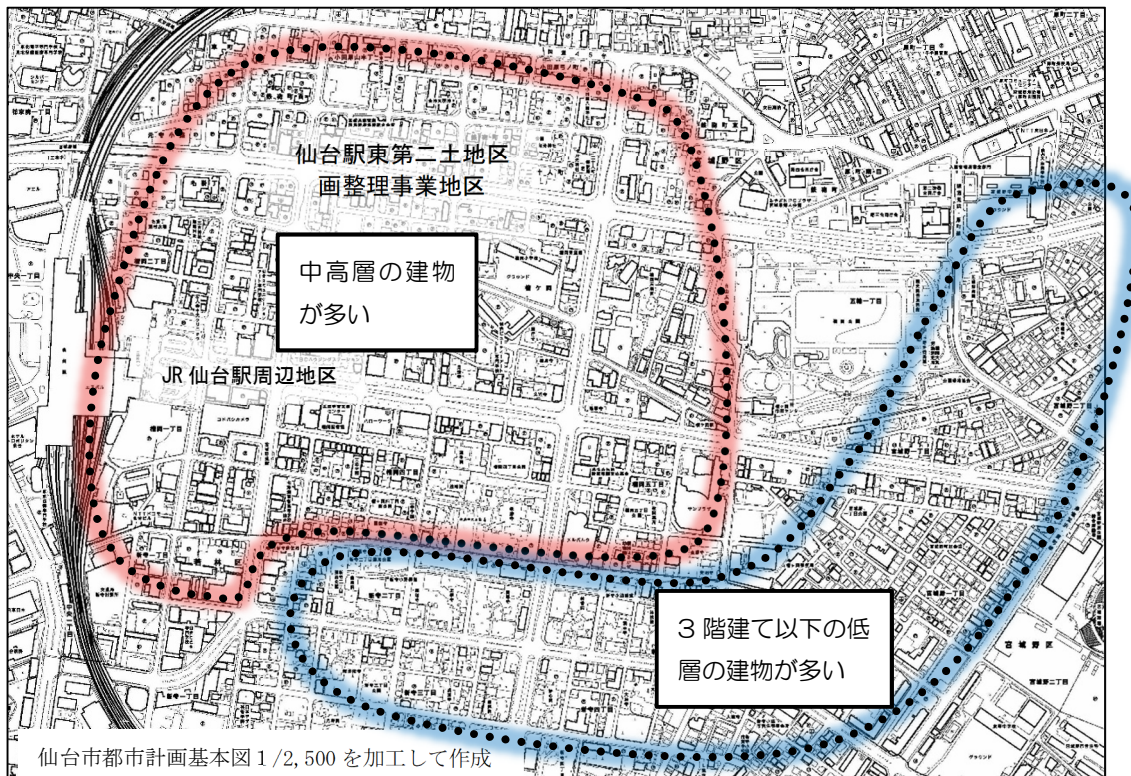
## ②-3 土地利用の現状（建物年代）

JR 仙台駅周辺地区や仙台駅東第二土地区画整理事業を行った地区は平成以降に建築又は建替えを実施した建物が多く、その他の地区については、昭和60年代に建築された建物が多い傾向です。



## ②-4 土地利用の現状（建物階数）

JR 仙台駅周辺地区、仙台駅東第二土地区画整理事業を行った地区については、比較的中高層の建物が多いですが、その他の地区については、3階建て以下の低層の建物が多い傾向です。

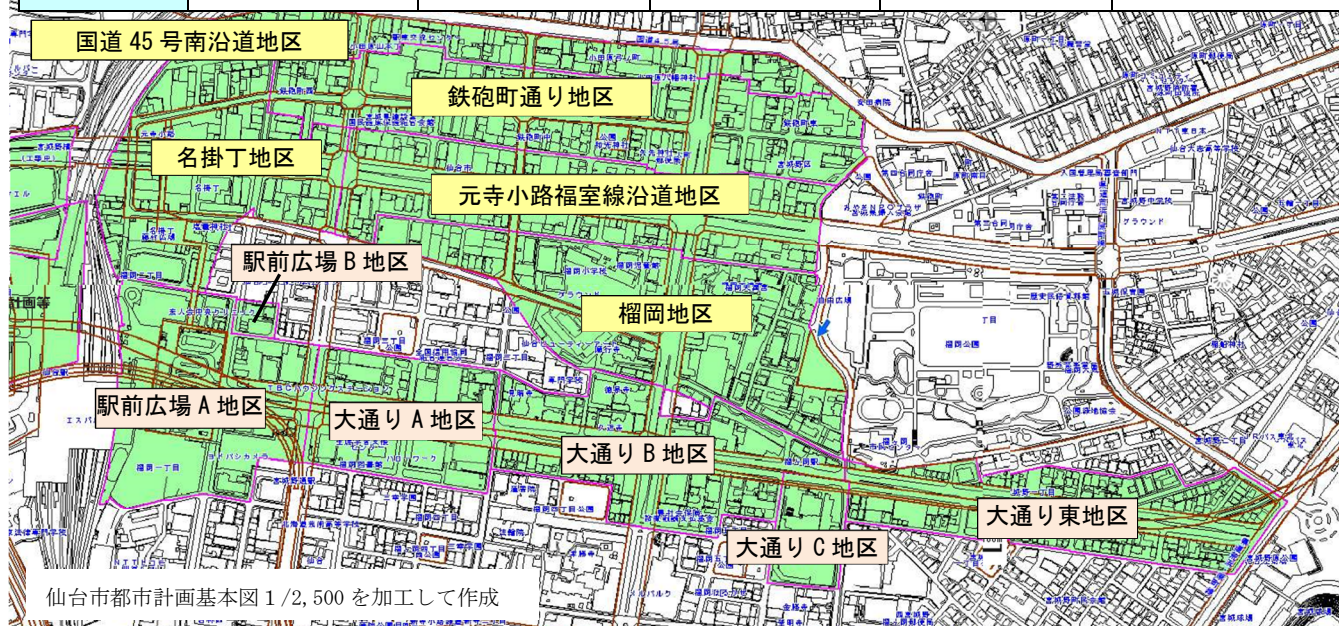




③地区計画の決定状況（宮城野通地区・仙台駅東第二地区）

※詳しくは仙台市の地区計画ガイドを参照ください。

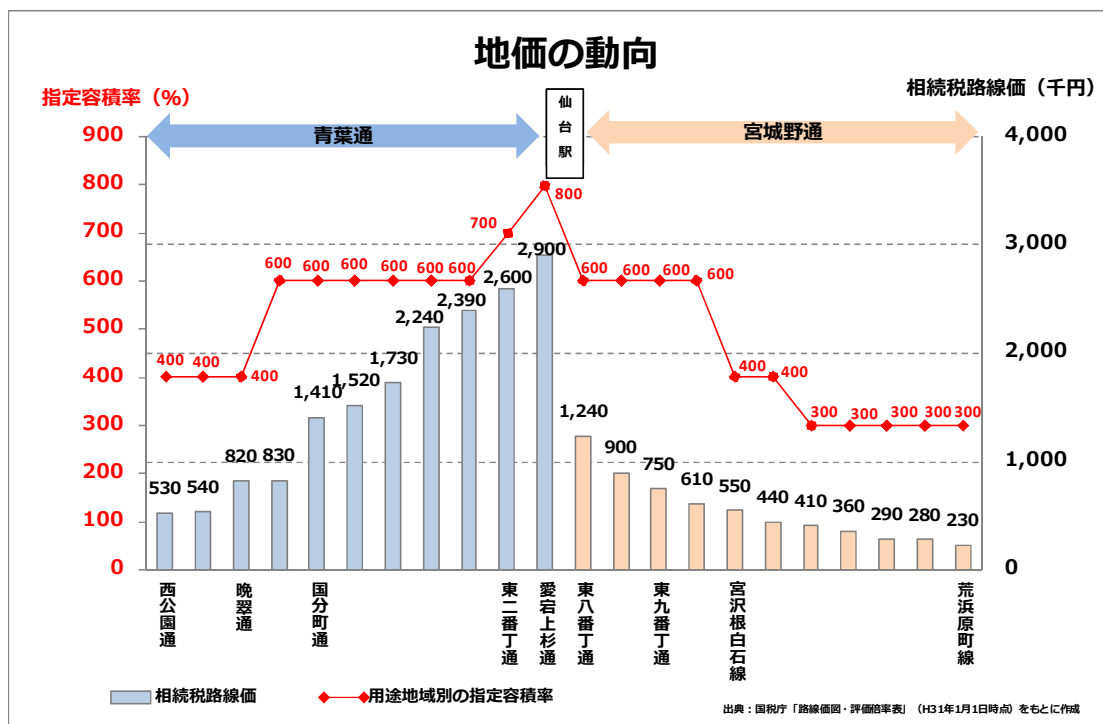
地区計画名	仙台駅東第二地区				
地区名	元寺小路福室線沿道	名掛丁	鉄砲町通り	榴岡	国道45号南沿道
まちづくり方針	賑わいを演出するため、商業・業務系施設の立地誘導と街並み景観に配慮	交通結節機能の利便性を活かした土地の高度利用 商業・業務・交流・サービス等の施設の立地誘導	新たな賑わい・交流の創出と地球環境にやさしい市街地形成 歴史・文化的な資源活用と職住近接の利便性の高い良好な居住環境を形成	良好な教育環境を継承 緑豊かで歴史を有する魅力的な環境を活かした良好な居住環境を維持	アクセス機能を活かし、主に沿道商業サービスを中心とする土地利用を誘導
用途地域	商業 (400%、500%)	商業 (400%、500%)	商業 (400%、500%)	商業 (400%)	商業 (400%、500%)
主な用途の制限	カラオケボックス、勝馬投票所、危険物貯蔵・処理施設、自動車教習所、風営、倉庫、畜舎、工場等	なし	カラオケボックス、危険物貯蔵・処理施設、自動車教習所、風営＋鉄砲町榴岡線に接する敷地は、自動車車庫、倉庫、畜舎、工場等	なし	なし



地区計画名	宮城野通地区					
地区名	駅前広場A	駅前広場B	大通りA	大通りB	大通りC	大通り東
まちづくり方針	賑わいのある商業業務地として高度利用	賑わいのある商業業務地として高度利用	駅東地区の核となる文化性の高い大規模な商業業務施設等の誘導	既存住宅・寺院と調和した商業業務施設の集積と高度利用	文化性の高い施設整備	住宅と商業業務施設との調和
用途地域	商業 (400%、500%、600%)	商業 (600%)	商業 (400%、600%)	商業 (400%、600%)	商業 (400%)	近隣商業 (300%)
高さの最高限度	80m以下 (緩和規定あり)	80m以下 (緩和規定あり)	60m以下、80m以下 (緩和規定あり)	60m以下、80m以下 (緩和規定あり)	60m以下 (緩和規定あり)	40m以下 (緩和規定あり)
主な用途の制限	住宅、共同住宅、1・2階が自動車車庫、工場、自動車修理工場、GS、倉庫、風営	1・2階が住宅や共同住宅、1・2階が自動車車庫、工場、倉庫、自動車修理工場、GS、風営	1階が住宅や共同住宅、1階が自動車車庫、工場、倉庫、自動車修理工場、GS、風営	1階が住宅や共同住宅、1階が自動車車庫、工場、倉庫、自動車修理工場、GS、風営	なし	工場、倉庫、自動車修理工場、GS、風営

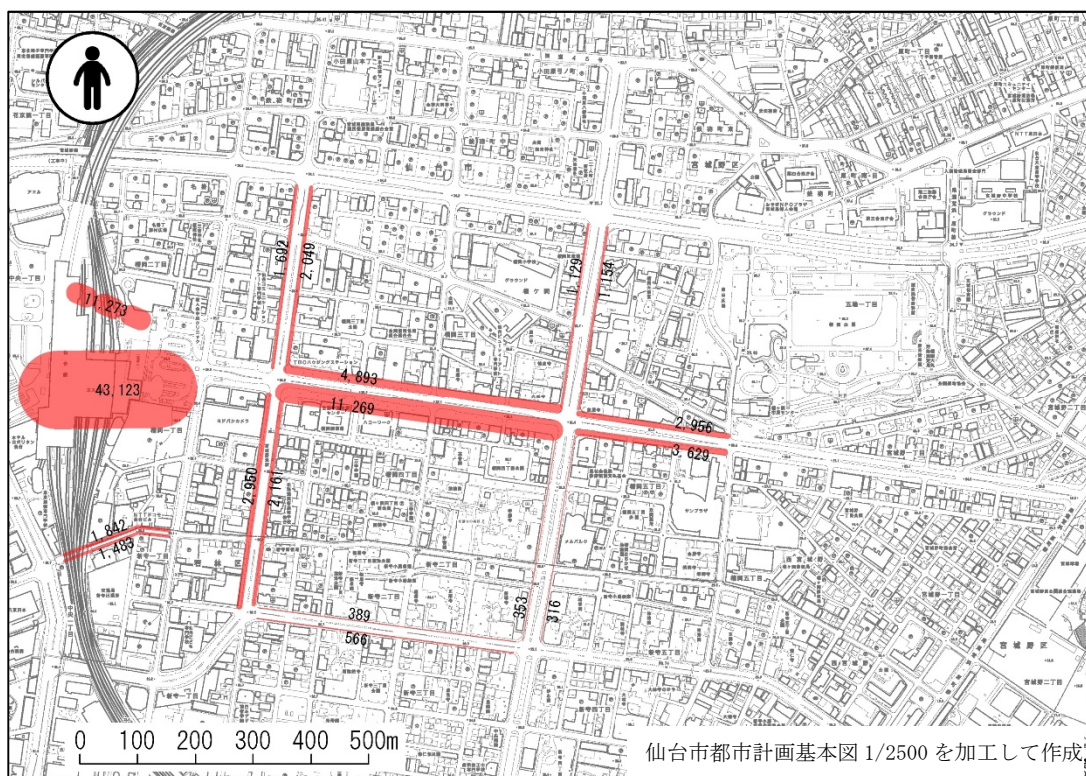
#### ④地価の動向（青葉通との比較）

宮城野通の路線価については、JR 仙台駅西側の青葉通と比較すると、同じ容積率の地区でも、現段階では30%から50%程度低い評価額となっております。



#### ⑤歩行者の交通量（参考）

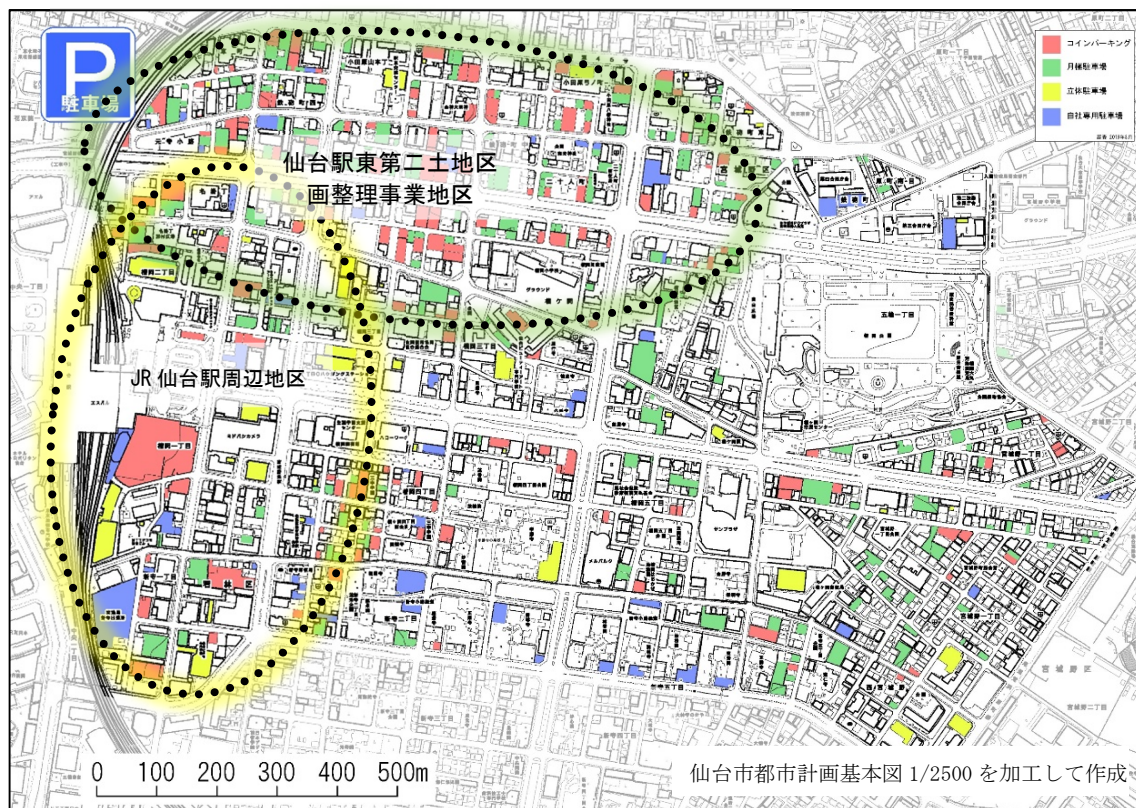
計測ポイントが少ないため参考程度ではありますが、JR 仙台駅の東西自由通路の通行量は年々増加していますが、宮城野通の通行量はその1/2以下となっています。また、宮城野通は、南側の歩道の方が、北側の歩道の倍以上の通行量があります。





## ⑥ 駐車場の立地状況

仙台駅東第二土地区画整理事業地区を中心に、平置きのコインパーキングや月極駐車場が多く立地しており、JR 仙台駅前地区には、自走式の立体駐車場が多くみられます。



## ⑦ 学校施設の立地状況

エリア全体に様々な専門学校が立地しており、このエリアに多くの学生が通学している。また、ジムなどのスポーツ系の施設も多く立地している。





### (3) 仙台駅東エリアの特性

#### ①ゆとりのある宮城野通の空間

宮城野通は、「杜と水のみち」をテーマに整備されており、本市では珍しい水路や豊かな街路樹が整備されています。

宮城野通は、最大幅員50mで、自転車道と歩道、車道が分離されており、歩道幅員も約11mと広幅員で、歩きやすい空間となっています。

また、自転車道と歩道の間には、路上駐輪施設があり、違法駐輪の削減に貢献しています。

なお、中央分離帯はすずめ踊りなどのイベント時には移動可能となっています。



宮城野通

#### ②多彩な憩いの空間

榴岡公園は、平成元年に日本の都市公園100選に選ばれており、園内には、サクラのほか、ウメ、ツバキ、フジ、ハギなども植えられ、四季を通して市民に広く親しまれ、市内有数の憩いの場となっています。

また、旧陸軍歩兵第四連隊兵舎の一棟を移築した歴史民俗資料館もあり、仙台の歴史や民俗に親しむこともできます。

仙台市の公園マネジメント方針では、榴岡公園の民間事業者による新しい公園サービスの提供を行うこととされています。



榴岡公園

仙台駅東第二地区には、土地区画整理事業により確保された公園用地が点在しており、そのうちの一つ「(仮称)仙台駅東1号・2号公園」については、地域の皆さんと意見交換しながら整備方針をまとめ、イベント等で活用可能な公園として、令和4年度の供用開始を目指して整備を進めています。

エリアの南側に位置する新寺地区では、新寺二丁目蓮池公園から新寺五丁目公園を結ぶ通称「新寺小路緑道」が再整備されており、毎月28日には「新寺こみち市」が開催されています。



(仮称) 仙台駅東1号・2号公園 (イメージ)



新寺小路緑道



### ③広域集客施設

東北楽天ゴールデンイーグルスや仙台アンパンマンこどもミュージアム&モールの他、駅前には、ヨドバシカメラマルチメディア仙台や、東西自由通路の拡幅に合わせて大規模リニューアルを実施したエスパル東館などが立地しており、今後も JR 仙台駅周辺を中心に、オフィスやホテルの立地が予定されているなど、東北の玄関口として駅前の賑わい創出の拠点となっています。



JR 仙台駅東口周辺

### ④豊富な歴史的・文化的資源

榴岡天満宮は、学問の神様と言われている「菅原道真」を祀る神社です。境内には、江戸時代の俳人・松尾芭蕉の句碑をはじめ、多くの文人墨客の句碑・歌碑があります。

新寺界限は、仙台開府当初、仙台城から見て鬼門に位置していたため、多くの寺院が集まり寺町をつくりました。かつて八つの古塚があったため「八つ塚」と呼ばれていたこの界限は、元寺小路にあった寺院を移転したことから新たに「新寺小路」と命名され、現在に引き継がれています。

新寺界限は、歴史のある寺が多く、孝勝寺のクロマツや正楽寺のイチヨウなど、市の保存樹木に指定されている名木・古木が境内に植えられています。また、善導寺や栽松院、松音寺、光寿院などには見事な庭園があります。

毎月 28 日には、榴岡地区の歴史や文化を案内するボランティアグループ（宮城野さんぽみち）によるガイドツアーも継続開催されています。



榴岡天満宮



善導寺入口

### ⑤地域の交流を促進する施設の立地

宮城野通沿道に位置する生涯学習支援センターでは、その地域特性を踏まえ、勤労者等を対象とした「パワーアップビジネス講座」「大人の課外授業」などの夜間講座をはじめ、地域の魅力を知る「ディスカバー!東口」講座など、さまざまな事業を学校や地域団体等との連携協力のもとに積極的に取り組んでいます。また、仙台アンパンマンこどもミュージアム&モールの隣に平成 27 年に整備された「駅東交流センター」は、地域の町内会や関係団体の交流スペースとして活用されています。



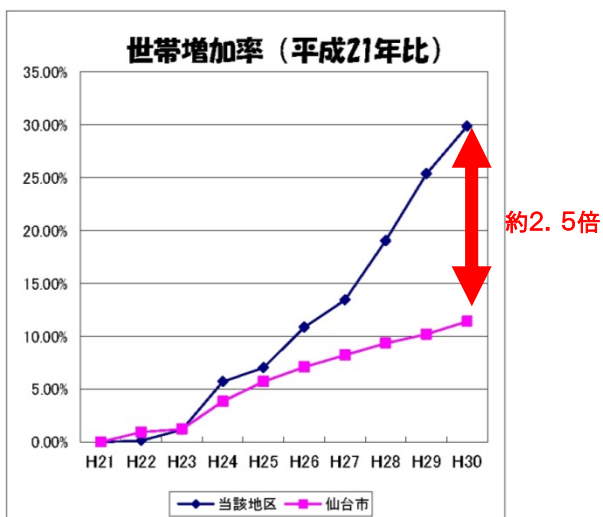
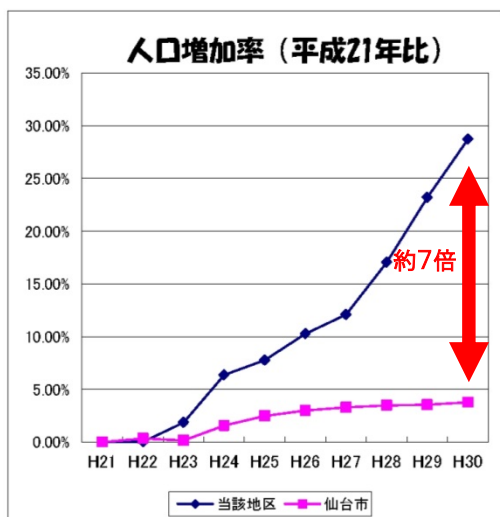
駅東交流センター

## ⑥人口の増加（榴岡小学校区）

榴岡小学校区については、近年大幅に人口が増加しており、H21年度とH30年度の比較で、人口総数、世帯数共に約30％程度増加（住民基本台帳ベース）しております。

### 世帯数及び世帯構成員数

	榴岡学区	宮城野区	仙台市
世帯数	8,984	93,184	501,042
構成員数	1.82	2.11	2.09

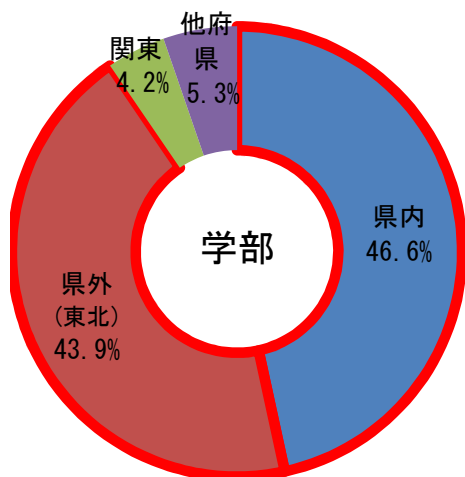


## ⑦地域に根差した学びの場の立地

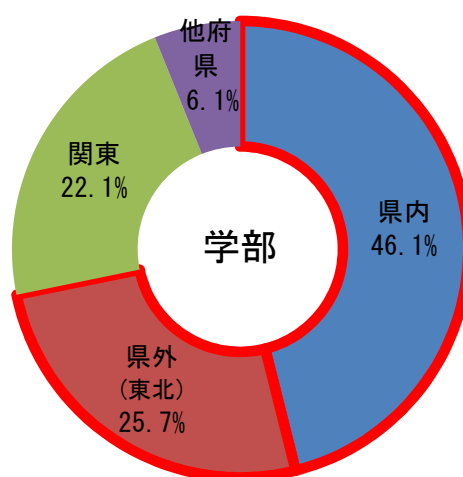
仙台駅東エリアには、東北福祉大学仙台駅東口キャンパスや各種専門学校などが立地しており、様々な分野で活躍を目指す若者が日々学んでいます。

東北福祉大学については、入学生の5割弱が県内出身者で、9割以上が東北6県の出身となっています。一方で、就職先としては、県内への就職が5割弱で、約7割が東北6県に就職しており、比較的地元就職率は高い状況となっています。

入学生の出身地域（2019. 4）



卒業生の就職地域（2019. 3）



東北福祉大学公表データより



## 2. 仙台駅東エリアの課題

### (1) まちのコンセプト

#### ①東口の顔となる施設の不足

東口と言えばと言われて思いつく施設や拠点が少なく、東口の新たな将来像を象徴するようなランドマークやシンボルとなる場づくりが求められています。

#### ②エリアごとに異なる空間の質

賑わいを創出する必要がある通・エリアがある一方で、住宅や寺院などの静かな環境や雰囲気を保全する必要があるエリアがあるなど、空間活用にメリハリをつける必要があります。

#### ③まちづくり×ビジネス

企業立地を促進するためにも、地域のまちづくり活動が新たなビジネスにもつながるエリアであるといった特色を持たせる必要があります。



仙台駅東口駅前広場



宮城野通

### (2) 多様な集客施設や歴史資源の活用

#### ①道路の魅力的な空間活用の不足

宮城野通や東八番丁通などの道路空間が整然としすぎており、歩く人にとってワクワク感を感じられるような演出が必要です。また、アンパンマン子どもミュージアム&モールまでの道中に子供が楽しめるような仕掛けづくりが求められています。

#### ②公園の活用

市内に5つある総合公園のひとつである榴岡公園がエリア内にありますが、駐車場や駐輪場が不足しており、子供連れの家族にはアクセスがづらい状況となっています。また、エリア内には未整備も含めて、約20ヶ所の公園用地がありますが、有効活用されているとは言えず、大小の公園の場づくりと公園間をつなぐ総合的・包括的な回遊の仕掛けづくりが必要です。



榴岡公園



未供用の公園用地

### ③施設間のつながりの不足

アンパンマンこどもミュージアム&モールや東北楽天の本拠地スタジアムなどの集客施設や伊達家ゆかりの歴史スポット、榴岡公園などの憩い空間など、回遊の拠点となる場所が多くありますが、それぞれのつながりが無く、複数のコンテンツを巡りながら、まちに滞在・滞留するというストーリー性が感じられない状況となっています。

## (3) 交通機能

### ①駅前の歩行者・自動車の渋滞

東西自由通路から東口のペDESTリアンデッキを通り、まちにアクセスする動線（横断歩道やエスカレーター）が悪く、朝夕の時間帯には行列ができる状況となっており、そこを避けるために、横断歩道の無い道路を乱横断する人もいます。

駅前の東七番丁通は、横断歩道を横断する歩行者待ちの車両や、事業用車両の路上駐車などによる交通渋滞が発生しており、歩行者と自動車の交通が上手くコントロールされていない状況です。

週末等には、駅前の大規模平面駐車場等で、入場待ちの車列ができており、通過する一般車両の通行にも影響が出ています。

また、仙台コミュニティサイクル（ダテバイク）のポートが都心西部と比較すると少なく、またポートの位置も分かりづらい状況となっている。



信号の無い横断歩道

### ②仙台駅東エリアの公共交通

仙台駅東エリアは、地下鉄東西線の宮城野通駅とJR仙石線の榴ヶ岡駅があるものの、路線バスについては、スタジアムで野球を開催する日に宮城野通を通るシャトルバスのみであることや、買い物をする施設が少ないこともあり、駅から離れた地域の住民にとっては、車が無いと生活がしづらい状況です。



仙台駅東エリアの路線バス経路

### ③宮城野通

宮城野通には、自転車道（宮沢根白石線より西側のみ）がありますが、道路上におかれる収集ごみや街路樹の根上がりが見られるとともに、路上停車している観光バス乗降者と自転車の接触事故も発生しており、何らかの改善を検討する必要があります。



宮城野通の根上がりの状況



## （４）まちの情報発信

これまで、仙台駅東エリアマネジメント協議会の広報誌「えきひがし ONE」やホームページにより、地域の情報を発信していますが、アンパンマンこどもミュージアム&モールの位置が分かりにくいといった問い合わせがあるなど、エリア内の店舗や観光スポットなどの案内を集約的に行う仕組みがなく、地域の情報発信力に乏しい状況です。



仙台駅東第一地区土地区画整理事業のモニュメント

## （５）滞在・滞留を促す施設

宮城野通など広幅員の歩きやすい歩道はあるものの、滞留できるようなスポットがなく、人の交流や活動を生む場が少ない状況です。

また、宮城野通沿道には、野球観戦やサンプラザでのコンサートの帰りなどに余韻に浸りながら過ごせる飲食店も少ない現状です。

## （６）居住環境

### ①利便施設

エリア内には、日常的に買い物をするスーパーなどの施設が不足しています。

### ②地域コミュニティ

利便性の良さを理由に居住地として選んでいる人も多く、地域コミュニティの必要性を感じていない人もいる一方で、子育て中のママさんなど、地域交流を求めている人もいる状況です。

### ③賑わいづくりと静かな環境づくりの両立

イベント時に発生する音や渋滞の問題については、近隣の居住者に十便配慮して計画する必要があります。

### ④防犯・防災対応

高層マンションも多く、災害時に停電が発生した際には、エレベーターの停止と断水が大きな問題となるとともに、高齢者や障害者等の災害弱者の避難や生活をサポートする共助の取り組みが求められています。

また、エリア内には、仙台駅東活性化連絡協議会が主体となり、防犯カメラを 20 台設置されていますが、今後も、更に犯罪の抑止効果を高める取り組みが求められています。

## （７）地域の住民、就業者、学生等の交流

### ①まちづくりへの参加

居住世帯が年々増加しており、また、専門学校も含め、学生が多いエリアであることから、地



域のまちづくり活動に積極的に参加できるような機会の創出が求められています。

## ②学生の流出抑制

学生の関東圏への流出は、仙台だけでなく、東北全体の課題となっており、地元企業との連携した取り組みが必要となっています。

## ③オフィス環境

当該エリアは JR 仙台駅西側のエリアと比較して、シェアオフィスやコワーキングスペースなどが少なく、新たなビジネス交流が生まれるような環境づくりが求められています。

## ④図書館機能

「パルシティ仙台」内にある榴岡図書館は、学生からの認知度が低く、多賀城市立図書館のようにゆったりと利用でき、外国語図書の閲覧もできるような、まちに開かれた図書館機能が求められています。

## ⑤女性の働く環境

出産を機に子育てに専念していた女性やこれから子供を産み育てる女性にとって働きやすい環境整備（病児保育、病後児保育の充実など）が求められています。

# (8) 外国人対応

## ①外国人観光客の対応

このエリアだけの課題ではありませんが、街中に外国語に対応した案内サインやインフラが不足しており、初めて仙台を訪れる外国人観光客にとって分かりにくいまちになっています。

## ②外国人労働者への対応

外国人が安心して働けるような医療機関や子育て施設等、外国からの労働者やの企業を誘致する環境整備が必要です。

また、地区内にあるハローワークの外国人対応の機能強化も重要性が増しています。



# 仙台駅東まちづくり協議会 地域課題 MAP

## 【居住環境関連】

- 利便性の良さを理由に居住地として選んでいる人が多く、コミュニティを必要としない人も多い。
- 一方で、地域交流を求めている子育て中のママさんいる。
- イベント時の渋滞や音などは、居住者に配慮が必要。
- 買い物する施設が不足している。

## 【学校・学生との連携】

- 専門学校を含め、学生が多いエリアである。
- 東北に学生を留めるためには、地元企業との連携が必要である。
- 企業立地の促進のためにも、地域活動がビジネスにつながるエリアといった特徴が必要。

## 【防犯・防災対応】

- 高層マンションの多いエリアで、災害(停電)時はEVの停止と給水が問題となる。
- 災害時に高齢者等をサポートするボランティアグループが欲しい。
- 宮城野通にも防犯カメラを設置すべき

○整備中の1・2号公園の活用を検討する必要がある。

○信号の無い横断歩道により交通渋滞を誘因している。

○レンタカー店の車や引越しのトラックなどの通行量・路上駐車が多い。

○南北方向に渡る横断歩道が無い。

○新たなホテルの立地により歩行者通行量の増加が見込まれる。

○宮城野通の歩道の混雑を避け、南北の裏通に流れる人が多い。

○自転車道を延伸してほしい。

○地下道があるが階段しかないため利用者は少ない。

○横断歩道の無い交差点での東西方向の乱横断が多い。

## 【求められる施設機能】

- 東口はシェアオフィスなどが少ない印象。ビジネス交流が生まれる施設が欲しい。
- 学生は、多量の本や図書館のようなゆったり利用できる図書館を希望している。
- 市民図書館機能や外国語図書など特徴のある図書館が欲しい。(大学・企業・行政の連携)
- 民間開発に合わせて地域行事に活用できるような空地を整備して欲しい。
- 低層階に飲食施設(テーマ性のあるもの)のある商業施設が欲しい。
- 主婦が安心して働ける環境整備が必要。(病児保育等)
- DMO(地域資源に精通した観光地域づくりを担う法人)のような機能を狙っても良い。

## 【賑わいの創出】

- 駅前とスタジアム側の賑わいが分断されている。
- 複数のコンテナによる相乗効果で、人の動きを誘導する仕掛けが必要。
- スタジアムに行くまでのワクワク感づくりが必要。
- 賑わいの軸・エリアと、住宅地や寺院などの静かな雰囲気エリアなどで、空間利用にメリハリをつける必要がある。

## 【寺院等の資源活用】

- 歴史ガイドボランティア(宮城野さんぽみち)や新寺小路市との連携(インバウンド対応)が必要。
- 協議会としては、寺院の景観や雰囲気を守っていくという方針を打ち出していく必要がある。

## 【エリア全体の交通インフラ】

- ループバスとコミュニティバスの機能を合わせたようなエリア内の循環バスが欲しい。(観光客、高齢者等の居住者等)
- 仙台コミュニティサイクル(ダテバイク)のポートが都心西部と比較すると少なく、またポートの位置も分かっていない。

## 【インバウンド対応】

- 外国人に向けたサインやインフラが街中に少ない。
- 外国人も安心して働ける医療機関や子育て施設等、外国の企業誘致の仕組みも重要。
- ハローワークでの外国人対応機能も弱い。

## 凡 例

- …回遊動線
- …賑わいの軸
- …公園
- …ホテル
- …寺社等

## 【公園の活用】

- 大小の公園の場づくり、活用と、公園間をつなぐ回遊の仕掛けが必要。
- 未整備の公園用地の有効活用も検討すべき。(駐車場運営等)
- 榴岡公園の駐車場、駐輪場不足。

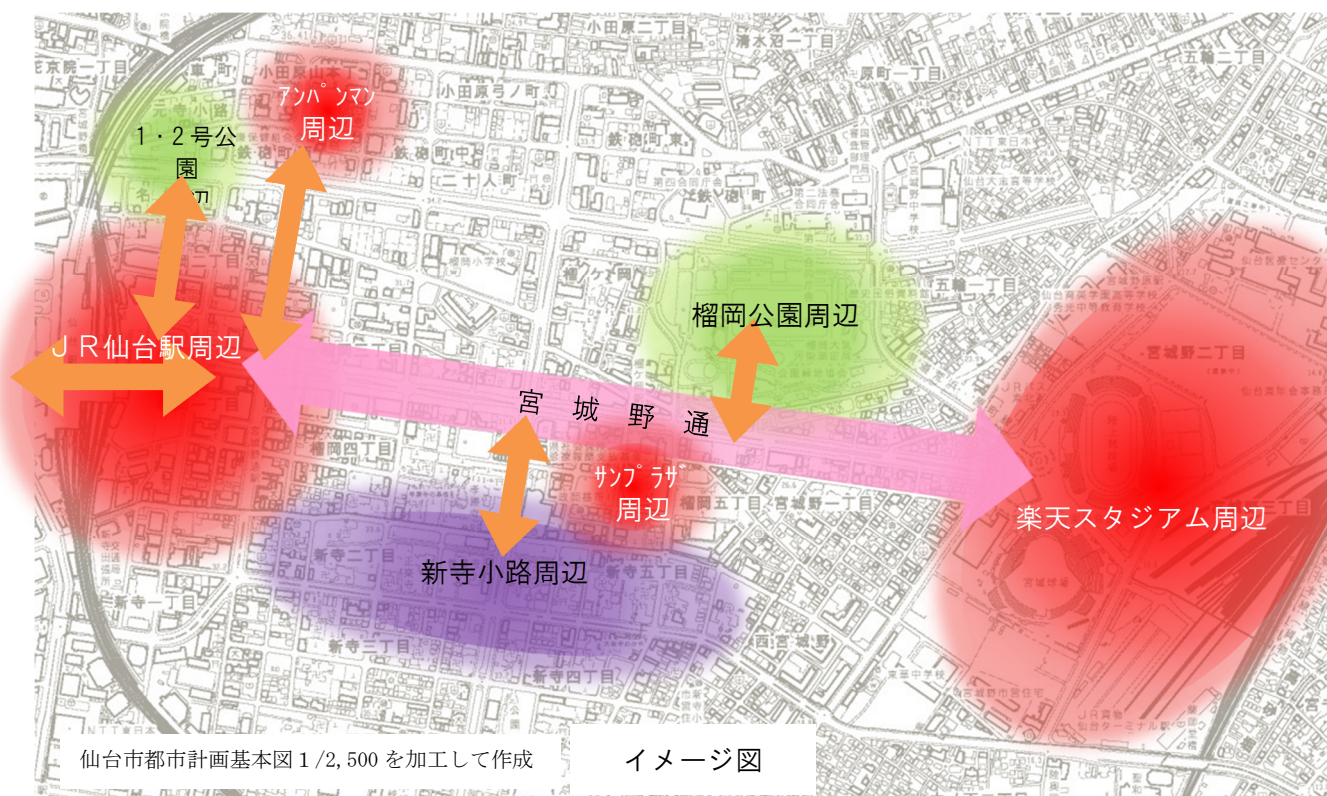
- エリア東部に飲食施設が不足
- 車が無いと生活しにくいエリア
- 賑わいが不足しているエリア

楽天生命パーク



## 第2章 まちの将来像と方向性

仙台駅東エリアについては、東北のゲートウェイとなっているＪＲ仙台駅と大きな賑わい拠点である楽天スタジアムを結ぶ宮城野通を骨格とし、その南北方向に点在する地域資源（榴岡公園、アンパンマンこどもミュージアム＆モール、新寺小路周辺の寺町など）への人の流れを誘引することで、エリア全体の回遊と賑わいが生まれるものと考えており、それを実現するため、以下の「まちの将来像」を掲げます。



### 1. まちの将来像

【住む・働く・楽しむ・学ぶが混在し多様なアクティビティがあるまち】

- 豊かな都市空間・資源を活かした魅力的なワーク・ライフスタイルが展開されている
- 多様な人々がつながる多層的なコミュニティによって支えられている

仙台駅東エリアは「住む・働く・楽しむ・学ぶ」が混在した多様なアクティビティがあるまちとして、地域にお住まいの方、働いている方や学生の方などが、宮城野通や榴岡公園をはじめとする豊かな公共空間や民間のオープンスペース、そしてこの地域ならではの歴史や文化資源などを活かして、一人ひとりが魅力的なワーク・ライフスタイルが展開されるとともに、様々な立場や世代の方がつながる多層的なコミュニティによって支え合いながら、持続的に発展して行くことを目指します。



## 2. 将来像実現に向けた方向性（4つのゾーニングと4つのネットワーク）

### 【方向性1】 4つのゾーンのメリハリづけと雰囲気・歴史性の継承

- ・ 広大な仙台駅東エリアを「駅フロントゾーン」「宮城野通沿道ゾーン」「寺町ゾーン」「鉄砲町・二十人町・住環境ゾーン」の4つのゾーンに分け、それぞれの立地特性や雰囲気・歴史性などを生かしたまちづくりを進めます。

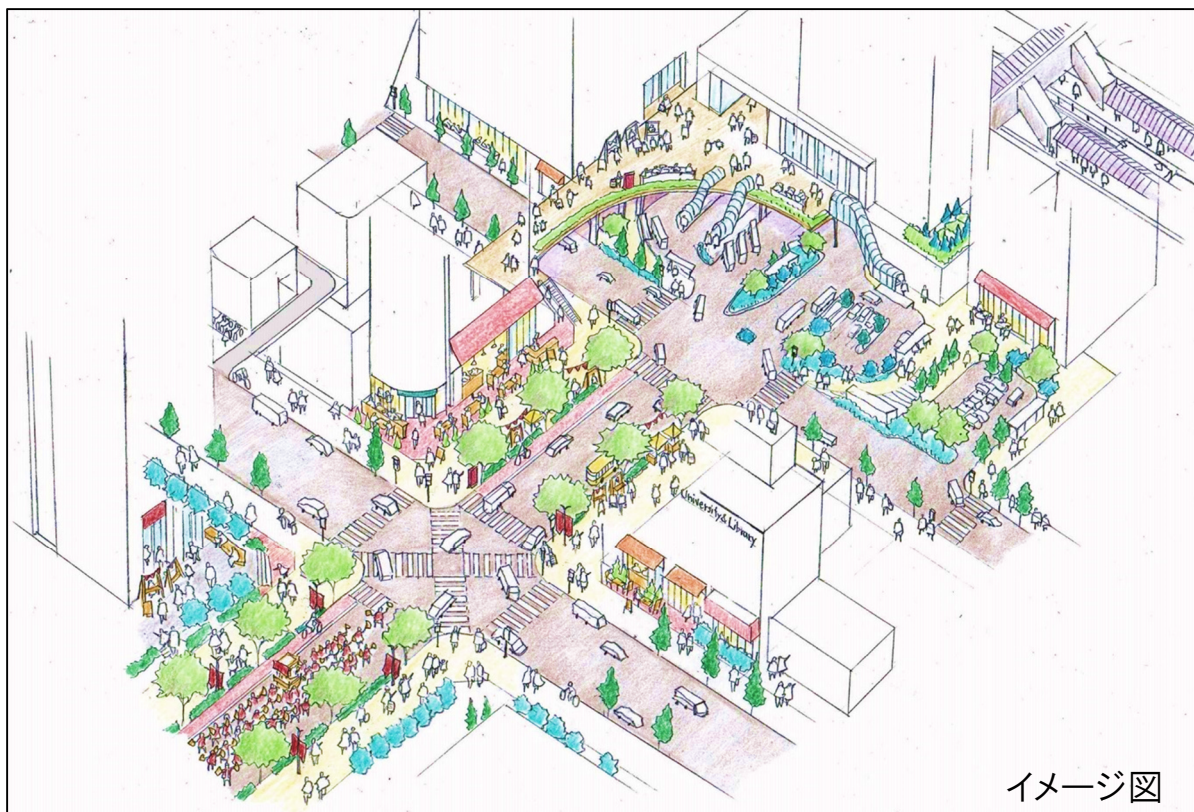
#### 駅フロントゾーン

- ・ 東北の玄関口としてふさわしい東口の新たなシンボルとなるような高度な都市機能を有した、「多世代・多主体の交流と共創によるコト起こし拠点」づくりを誘導します。



#### ＜まちづくりの方策＞

- 高機能オフィスをはじめ、シェアオフィスやインキュベーション施設などのビジネス交流拠点の立地促進
- 地域の特性に応じた新しいスタイルの図書館機能の立地促進
- JR 仙台駅前の低未利用地や建築年数の経過した建築物の機能更新・建替えの誘導
- まちに開かれ、テーマ性のある飲食・商業機能の誘導
- まちに開かれた公開空地の整備・運営の誘導
- 子育て世代が働きやすい環境整備（託児機能・福祉機能）の誘導
- 宮城野通歩道空間における滞留空間・賑わい空間づくり（ベンチ・キiosk・オープンカフェ等）
- JR 仙台駅東口広場周辺における滞留空間・賑わい空間づくり
- 東七番丁、東八番丁という南北軸における歩行者環境の強化
- JR 仙台駅西口と連携したまちづくりを推進



イメージ図



## 宮城野通沿道ゾーン

- より多くの方々が行き交うための飲食・商業機能や、榴岡公園へのゲート機能を形成することにより、ボールパークにつながる「わくわくを感じる賑わい軸」づくりを誘導します。



### <まちづくりの方策>

- 沿道への飲食・商業機能の誘導
- ボールパーク及び榴岡公園へのゲート機能の形成
- 次世代型のインフラ環境が享受できるまちの形成（キャッシュレス、5G 等）
- 宮城野通り歩道空間における滞留空間・賑わい空間づくり（ベンチ・キiosk・オープンカフェ）
- ボールパークの祝祭的な雰囲気・空間のしみだしの形成



イメージ図



### 寺町ゾーン

- ・既存の景観や雰囲気を継承し、これに調和した居住機能の維持・強化を図ることにより、「歴史性を活かした憩いと文化拠点」として、文化交流機能を充実させます。

#### <まちづくりの方策>

- 既存の寺院、居住機能の維持・強化
- 歴史性を活かした文化交流機能の充実
- 既存の景観や雰囲気の継承
- ゆったりと歩ける歩行者空間の形成



### 鉄砲町・二十人町・住環境ゾーン

- ・「安心・安全で質の高い文化的なアーバンライフが送れるまち」として、市内外から住む場所として選ばれ続けるような居住環境を形成します。

#### <まちづくりの方策>

- 榴岡公園をはじめ、まちに多数点在する公園の活用・ネットワーク化の推進
- スーパーやフィットネス等の居住環境を向上させる施設の立地誘導
- 通過交通を出来るだけ排除した静かで安全性高い街区の形成（ゾーン 30）
- 学ぶ機能や文化施設の連携と気軽に触れられる環境の整備
- 榴岡公園や街区公園等における防災機能の連携強化を推進



## 【方向性2】 4つのネットワークによる個性豊かな地域づくり

東北の人・モノ・情報をつなぐ「玄関口」としての役割を担うとともに、「学び」と「ビジネス」のイノベーションを創出するネットワークを形成します。

### 地域をつなぐ人のネットワークづくり

- ・地域の住民、就労者、学生等の交流・活動の場づくりや、若者がチャレンジしやすい環境づくりを推進します。

#### <まちづくりの方策>

- 地域の企業や団体等と連携し、若者（学生）や起業を目指す方、主婦などが、それぞれのやりたい事や得意な分野を活かした新しい活動や事業にチャレンジできるインキュベーション機能を持った場づくり。
- エリア内に点在する学校を中心とした学びのネットワークの形成。
- まちづくりへの参画や活動の担い手の育成。
- 仙台駅東まちづくり協議会がプラットフォームとなり、地域の住民、町内会等地域団体、NPO、教育機関、企業など、多彩な人々がつながり、緩やかにまちづくりに参画できるようなコミュニティの形成。
- エリア外とのつながりを強化し、東北のゲートウェイとなるようなエリアの形成。



東北福祉大学前の多芸多菜市の様子



仙台駅東まちづくり協議会メンバー

### 人々の交流やアクティビティが溢れる空間ネットワークづくり

- ・宮城野通や榴岡公園等の空間活用を推進すると共に、各ゾーンや施設をつなぎエリア内の回遊・滞留を促進します。

#### <まちづくりの方策>

- 宮城野通や榴岡公園等の他に類を見ない貴重な公共空間や民間の公開空地等を活用し、賑わいや交流の拠点を形成。
- 各ゾーンや施設、駐車場、公園を面的につなぎ、エリア内の回遊や滞留を促し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を誘導。
- 駐車場の適切な場所への配置及びネットワークの形成。
- テーマ性のある飲食店などの誘致により、来街者がまちを回遊する仕掛けづくり。
- 自然環境が有する防災・減災、地域振興、環境といった各種機能を活用したグリーンインフラの導入を検討



南池袋公園の様子



札幌大通のすわろうテラス



## 仙台駅東口からのシームレスな交通ネットワークづくり

- ・歩いて楽しい街を目指し、歩行者・自転車の交通環境を改善・強化するとともに、ループ型の交通手段の形成や、ICT を活用したシームレスな移動手段の導入を検討します。

### <まちづくりの方策>

- 駅フロントゾーンの歩行者・自動車の交通処理機能の強化。
- 仙台空港から JR 仙台駅、そして JR 仙台駅東口から宮城野通へのシームレスな歩行者環境の形成。
- 宮城野通沿道ゾーンにおける道路空間の再編等による歩行者・自転車の動線の明確化、及びすべての人が安全で円滑に移動できる環境づくり。
- 循環バスなどの地区内外を結ぶループ型の交通手段の形成を推進し、観光客や高齢者等の移動手段の多様化を図る。
- ICT を活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての交通手段による移動を 1 つのサービスとして、シームレスにつなぐ「MaaS」の導入を検討。



定禅寺通のスクランブル交差点



グリーンスマートモビリティ社会実験の様子  
(国交省 HP より)

## 誰もが利用可能な情報ネットワークづくり

- ・インバウンド対応も含めて一元的かつ継続的に情報発信します。

### <まちづくりの方策>

- 民と公が持つ様々な情報を収集し、インバウンド対応も含めて一元的かつ継続的に情報発信。
- 戦略的なエリアプロモーションにより多くの人々の関心を惹き付け、来街のきっかけづくりを推進。
- 宮城野通や榴岡公園等への WiFi 設備の整備誘導
- 次世代型のインフラ環境が享受できるまちの形成（キャッシュレス、5G 等）



屋外設置型のデジタルサイネージ  
(栄ミナミエリアマネジメントの HP より)





## ●方向性1 『4つのゾーンのメリハリづけと雰囲気・歴史性の継承』

仙台駅東まちづくり協議会  
仙台駅東エリア

### 鉄砲町・二十人町ゾーン

「安心・安全で質の高いアーバンライフが送れるまち」として、市内外から住む場所として選ばれ続けるような居住環境を形成

＜まちづくりの方策＞

- 榴岡公園をはじめ、まちに多数点在する公園の活用・ネットワーク化の推進
- スーパーやフィットネス等の居住環境を向上させる施設の立地誘導
- 通過交通を出来るだけ排除した静かで安全性高い街区の形成(ゾーン30)
- 学ば機能や文化施設の連携と気軽に触れられる環境の整備
- 榴岡公園や街区公園等における防災機能の連携強化を推進

### 駅フロントゾーン

東北の玄関口としてふさわしい東口の新たなシンボルとなるような高度な都市機能を有した、「多世代・多主体の交流と共創によるコト起こし拠点」づくりを誘導

＜まちづくりの方策＞

- 高機能オフィスをはじめ、シェアオフィスやインキュベーション施設などのビジネス交流拠点の立地促進
- 地域の特性に応じた新しいスタイルの図書館機能の立地促進
- JR仙台駅前の低未利用地や建築年数の経過した建築物の機能更新・建替えの誘導
- まちに開かれ、テーマ性のある飲食・商業機能の誘導
- まちに開かれた公開空地の整備・運営の誘導
- 子育て世代が働きやすい環境整備(託児所機能・福祉機能)の誘導
- 宮城野通歩道空間における滞留空間・賑わい空間づくり(ベンチ・キオスク等)
- JR仙台駅東口広場周辺における滞留空間・賑わい空間づくり
- 東七番丁・東八番丁という南北軸における歩行者環境の強化
- JR仙台駅西口と連携したまちづくりを推進

### 宮城野通沿道ゾーン

※榴岡公園や榴岡天満宮などの地域資源を活用したまちづくりに取り組むエリア

### 住環境ゾーン

より多くの方々が行き交うための飲食・商業機能や、榴岡公園へのゲート機能を形成することにより、ポールパークにつながる「わくわくを感じる賑わい軸」づくりを誘導

＜まちづくりの方策＞

- 沿道への飲食・商業機能の誘導
- ポールパーク及び榴岡公園へのゲート機能の形成
- 次世代型のインフラ環境が享受できるまちの形成(キャジュアルレス、5G等)
- 宮城野通歩道空間における滞留空間・賑わい空間づくり(ベンチ・キオスク等)
- ポールパークの祝祭的な雰囲気・空間の参みだしの形成

### 住環境ゾーン

既存の景観や雰囲気を経承し、これに調和した居住機能の維持・強化を図ることにより、「歴史性を活かした憩いと消費費※を創出する文化拠点」として、文化交流機能を充実

＜まちづくりの方策＞

- 既存の寺院、居住機能の維持・強化
- 歴史性を活かした文化交流機能の充実
- 既存の景観や雰囲気の継承
- ゆったりと歩ける歩行者空間の形成



イメージ図

※「コト消費」とは、仙台駅東エリアの様々な資源(人、場所、歴史等)を最大限活用し、ここでしかできない特別な体験や出会いなどに価値を見出すことを言う。



## ●方向性2 『4つのネットワークによる個性豊かな地域づくり』

ひと

### 【地域をつなぐ人のネットワークづくり】

地域の住民、就労者、学生等の交流・活動の場づくりや、若者がチャレンジしやすい環境づくりを推進

＜まちづくりの方策＞

- 地域の企業や団体等と連携し、若者(学生)や起業を目指す方、主婦などが、それぞれのやりたい事や得意な分野を活かした新しい活動や事業にチャレンジできるインキュベーション機能を持った場づくり。
- エリア内に点在する学校を中心とした学びのネットワークの形成。
- まちづくりへの参画や活動の担い手の育成。
- 仙台駅東まちづくり協議会がブラットフォームとなり、地域の住民、町内会等地域団体、NPO、教育機関、企業など、多彩な人々がつながり、緩やかにまちづくりに参画できるようなコミュニティの形成。
- エリア外とのつながりを強化し、東北のゲートウェイとなるようなエリアの形成。



東北福祉大学前の多芸多資市の様子



仙台駅東まちづくり協議会メンバー

空間

### 【人々の交流やアクティビティが溢れる空間ネットワークづくり】

宮城野通や榴岡公園等の空間活用を推進すると共に、各ゾーンや施設をつなぎエリア内の回遊・滞留を促進

＜まちづくりの方策＞

- 宮城野通や榴岡公園等の他に類を見ない貴重な公共空間や民間の公開空地等を活用し、賑わいや交流の拠点を形成。
- 各ゾーンや施設、駐車場、公園を面的につなぎ、エリア内の回遊や滞留を促し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を誘導。
- 駐車場の適切な場所への配置及びネットワークの形成。
- テーマ性のある飲食店などの誘致により、来街者がまちを回遊する仕掛けづくり。
- 自然環境が有する防災・減災、地域振興、環境といった各種機能を活用したグリーンインフラの導入を検討



南地蔵公園の様子



札幌大通のすわろうテラス

交通

### 【仙台駅東口からのシームレスな交通ネットワークづくり】

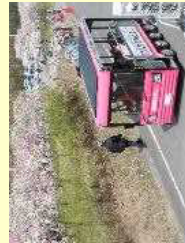
歩いて楽しい街を目指し、歩行者・自転車・自動車の交通環境を改善・強化するとともに、ループ型の交通手段の形成や、ICTを活用したシームレスな移動手段の導入を検討

＜まちづくりの方策＞

- 駅フロントゾーンの歩行者・自動車の交通処理機能の強化。
- 仙台空港からJR仙台駅、そしてJR仙台駅東口から宮城野通へのシームレスな歩行者環境の形成。
- 宮城野通沿道ゾーンにおける道路空間の再編等による歩行者・自転車の動線の明確化、及びすべての人が安全で円滑に移動できる環境づくり。
- 循環バスなどの地区内外を結ぶループ型の交通手段の形成を推進し、観光客や高齢者等の移動手段の多様化を図る。
- ICTを活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての交通手段による移動を1つのサービスとして、シームレスにつなぐ「MaaS」の導入を検討。



定禅寺通のスクランブル交差点



グリーンロード・駅・社会実験の様子  
(国交省 HP より)

情報

### 【誰もが利用可能な情報ネットワークづくり】

インバウンド対応も含めた一元的かつ継続的な情報発信

＜まちづくりの方策＞

- 民と公が持つ様々な情報を収集し、インバウンド対応も含めて一元的かつ継続的に情報発信。
- 戦略的なエリアプロモーションにより多くの人々の関心を惹き付け、来街のきっかけづくりを推進。
- 宮城野通や榴岡公園等へのWiFi設備の整備誘導
- 次世代型のインフラ環境が享受できるまちの形成(キャッシュレス、5G等)



屋外設置型のデジタルサイネージ  
(東ミナミエリア/ 仙台HP より)



### 3. 将来像を実現するための体系図





#### 4. 方向性をふまえた具体的な実現方策

##### (1) 短期（１～２年程度）で実現が想定される方策のイメージ

	担当	方向性1（ゾーン）				方向性2（ネットワーク）			
		駅フロント	宮城野通	住環境	寺町	ひと	交通	空間	情報
・地域の皆さまへの定期的な情報発信や意見交換、会員増の取組み、協議会執行体制の強化を実施	理事会＋事務局	●	●	●	●	●			●
・企業と大学、各種専門学校間における学生のインターンシップや就職等での連携、学びのネットワークの形成	コミュニティ広報	●	●			●			
・世代、性別、障害の有無、国籍などを超えて、地域の皆さんどうしでのまちづくりの議論や活動の機会創出		●	●	●	●	●			
・協議会がハブとなった、住民と地域・社会がつながる活動交流ネットワークの形成		●	●	●	●	●			
・協議会のホームページや広報誌による地域情報の一元的かつタイムリーな情報発信		●	●	●	●	●			●
・様々な広告媒体を活用した、仙台駅東の将来ビジョンを発信・共有		●	●	●	●	●			●
・地域の皆さまによる榴岡地区内の道路の愛称検討を支援		●	●	●	●	●		●	
・宮城野通等への防犯カメラの設置検討	空間活用	●	●					●	
・宮城野通や沿道の民地を活用したマルシェ、榴岡公園や楽天球場などエリア全体をつなぐ回遊型イベントの実施		●	●	●	●			●	
・「東北楽天ゴールデンイーグルス」及び「せんだいアンパンマンこどもミュージアム&モール」のコンテンツと道路空間等を活用したワクワク感を感じられる取り組みの検討・実施			●	●				●	
・区域内の公園（未整備含む）や藤村広場などのストーリー性のある活用方策の検討・実施				●				●	
・榴岡公園や街区公園等における防災機能の連携強化を推進				●				●	
・仙台コミュニティサイクル（ダテバイク）のポートの立地誘導と利用案内の一元化の検討		●	●	●	●			●	
・まちに開かれたテーマ性のある魅力的な飲食・商業機能の誘導、統一デザインの案内サインや大型フラッグ等の設置	都市創造 （＋行政）	●	●					●	●
・大学を事務局としたリビングラボ拠点の立ち上げと産官民の参加によるモデル実証の推進		●				●			
・都市再生緊急整備地域の東口への区域拡大		●						●	
・民間開発や公共空間活用に関するルールなどをまとめた、まちづくりガイドラインの検討		●	●					●	

(2) 中期 (3～5年程度) で実現が想定される方策のイメージ

中期（3～5年程度）										
担当	方向性1（ゾーン）				方向性2（ネットワーク）			情報		
	駅フロント	宮城野通	住環境	寺町	ひと	交通	空間			
• 法人化及び都市再生推進法人の指定による実施体制の強化	●	●	●	●	●					
		●	●		●					
	●	●					●	●	●	●
				●	●					
• まちづくりや防災に関する、地域や学生を中心としたボランティアグループの育成 • ペDESTリアンデンキや交差点等への外国語対応のデジタルサイネージによる情報案内板（観光、交通、防災など）の設置 • ガイドボランティアによるインバウンドにも対応した日常的な歴史巡りツアーの実施										
		●	●		●			●		
		●								
		●	●		●			●	●	●
		●	●							
		●	●		●			●	●	●
		●	●							
		●	●		●			●	●	●
		●	●							
• 宮城野通等における仮設コンテナやストリートファニチャ（テーブル・ベンチ等）の設置と、地域の企業や店舗による管理・運営 • 榴岡公園等における地元組織による憩いや賑わい創出（ドッグラン含む）の取り組みや、パークマネジメント制度を活用した管理・運営の検討 • 公共空間や民地を活用した学生や起業を目指す方等によるチャレンジショップの実施 • 公共空間を活用した出店料収入や広告料収入の仕組み構築による安定した協議会運営 • 協議会による水路や街路樹等の日常管理や清掃活動の実施による行政コストの削減 • 宮城野通や榴岡公園等への WiFi 設備の整備		●	●		●			●	●	●
			●							
			●					●	●	●
		●	●		●			●	●	●
		●	●							
		●	●		●			●	●	●
		●	●							
		●	●		●			●	●	●
		●	●							
• まちづくりガイドラインに基づく駅フロントゾーンの低未利用地や建築年数の経過した建築物の機能更新誘導 • スーパーやフィットネス等の居住環境を向上させる施設の立地誘導 • 地域にふさわしい施設機能の誘導【高機能オフィス、ビジネス交流拠点（シェアオフィスやインキュベーション施設など）、新しいスタイルの図書館機能、子育て中の女性が働きやすい環境整備（病児保育や託児施設など）、地域行事で活用可能な公開空地】 • 社会課題解決や暮らしを豊かにする仕組みを、産官学民の共創で具体化する拠点としてリビングラボを整備 • 地域の交通環境の向上【駅前広場出入口の南北方向の横断歩道設置、宮城野通と東七番丁・東八番丁の交差点のスクランブル化、東七番丁通などの信号の無い横断歩道における安全対策、イーグルロード（自転車道）の改修や東側延伸の検討】 • 東エリア全体における低炭素型の循環バス（グリーンズロースモビリティなど）やパーソナルモビリティの運行検討（社会実験の実施等）		●						●	●	●
		●						●	●	●
		●	●		●			●	●	●
		●								
		●	●					●	●	●
		●								
		●	●					●	●	●
		●								
		●	●					●	●	●

(3) 長期 (5年超) で実現が想定される方策のイメージ

長期（5年超）									
担当	方向性1（ゾーン）				方向性2（ネットワーク）				
	駅フロント	宮城野通	住環境	寺町	ひと	交通	空間	情報	
• 駅フロントゾーンにおけるインフォメーションセンター機能の構築・運営  • 大規模イベント時の宮城野通中央分離帯の撤去作業の簡便化 • 榴岡公園の駐車場・駐輪場の増設を検討 • 立地予定の県有施設（新県民会館等）と連携したイベントやプロジェクト等の実施	コミュニティ	●						●	
	空間活用（＋行政）		●				●		
				●		●	●		
		●	●				●		
• 駅フロントゾーンへ高速バスターミナル機能を誘導 • 沿道建物の再開発に合わせたベデスタリアンデッキの宮城野通側への延伸 • ひとの回遊を促す位置への駐車場・駐輪場の再配置 • 仙台駅東エリアにおける低炭素型の循環バス（グリーンスローモビリティなど）やパーソナルモビリティの実装化 • 建築物の緑化やレインガーデン等の整備による雨水流出抑制など、グリーンインフラの導入を検討	都市創造（＋行政）	●				●			
		●				●			
		●				●			
		●	●	●		●			
		●	●	●		●		●	



## 第3章 将来像実現に向けた取り組み

### 1. 将来像実現に向けたステップ

将来像の実現に向けて、できることから着実にSTEPを積み重ね、中長期的には、地域のプラットフォームとしての組織体制を確立しながら、活動内容を拡大してまいります。

#### STEP 1

短期（1～2年程度）

#### STEP 2

中期（3～5年程度）

#### STEP 3

長期（5年超）

## 想定される主な活動内容

#### 〇ひと

- ・地域の皆さまへの定期的な活動報告と自由な意見交換ができる場づくり
- ・インタナーシップ等による企業と学校の連携推進

#### 〇空間

- ・公共空間を活用したマーケットやマルシェ等の取組み支援や、ベンチ等の休憩施設の実験的な設置

- ・まちづくりガイドラインの作成・運用

- ・防犯・環境美化活動の実施

#### 〇情報

- ・統一された案内サインや大型フラッグ等の設置

#### 〇ひと

- ・公共空間への仮設店舗等の設置による学生や起業家等によるチャレンジショップの実施
- ・図書館機能、子育て支援機能、ビジネス交流機能等の誘致
- ・日常的な歴史資源巡リツアーの実施

#### 〇交通

- ・宮城野通と東七番丁通及び東八番丁通の交差点などの歩行環境改善の実施
- ・宮城野通の自転車道の改修や東側への延伸の検討

#### 〇空間

- ・国家戦略特区等を活用した道路占用による収益事業の実施やベンチ等の恒常的な設置
- ・榴岡公園等におけるパークマネジメント制度を活用した賑わい創出や管理・運営方策の検討

#### 〇情報

- ・地域情報案内機能の導入
- ・公共空間へのWiFi設備の設置・管理

#### 〇交通

- ・沿道開発に合わせたペデストリアンデッキの宮城野通への延伸
- ・地域内の循環バスの運行
- ・榴岡公園の駐車場・駐輪場の増設

#### 〇空間

- ・大規模イベント時の宮城野通中央分離帯の撤去作業の簡便化

- ・立地予定の県有施設（新県民会館等）と連携したイベントやプロジェクト等の実施

#### 〇情報

- ・インフォメーション機能の構築・運営

## 組織

### 母体となる組織は任意組織

仙台駅東まちづくり協議会主催による事業実施や、プロジェクトごとに実行委員会などを立てて事業を展開

### まちづくり組織の法人化

仙台駅東まちづくり協議会を法人化、またはプロジェクトの企画・運営を行う会社やNPO団体を設立し、収益事業を組織的・継続的に実施するとともに、熟度や必要性に応じて都市再生推進法人の指定を受ける。

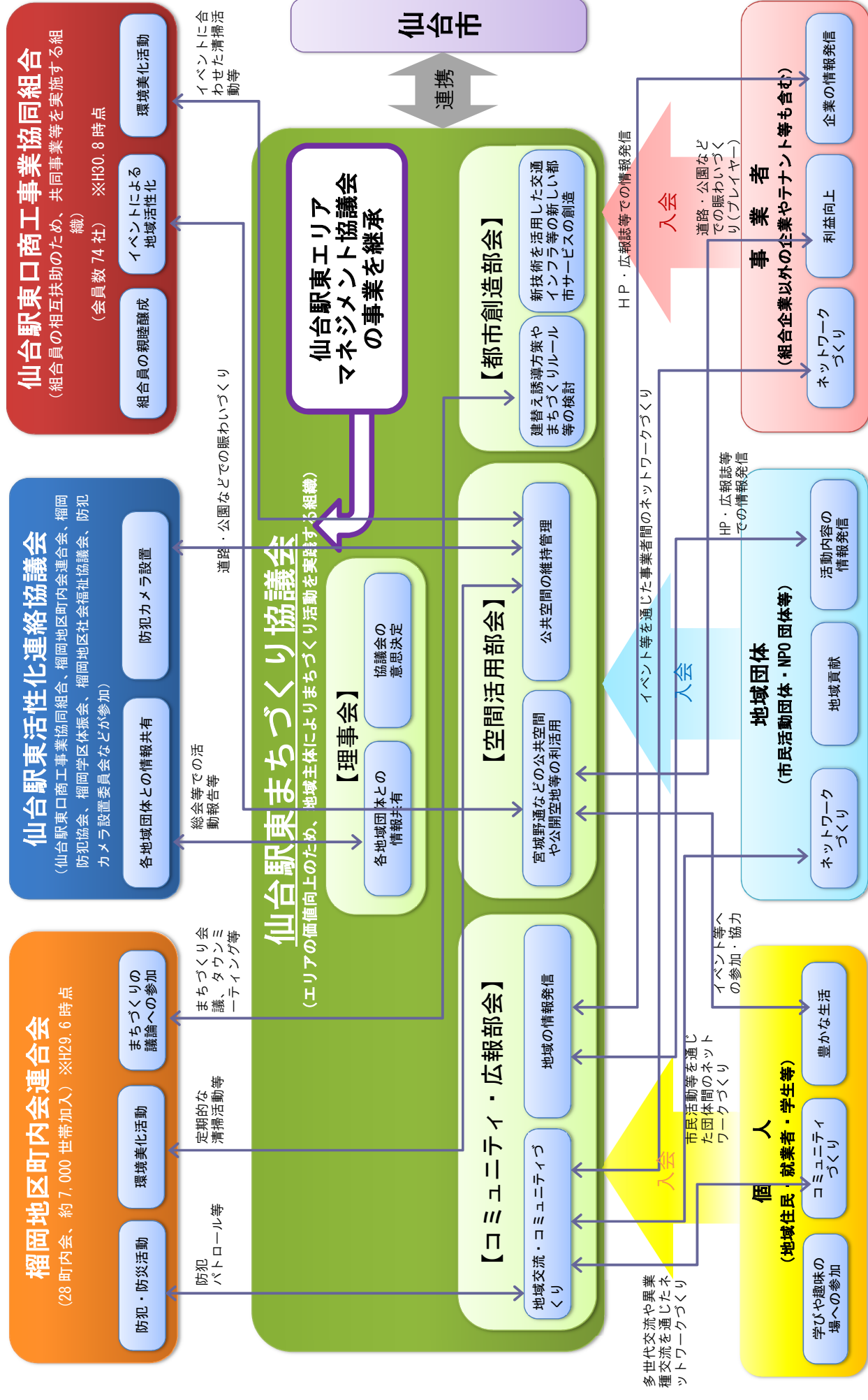
2. 想定スケジュール  
現段階での部会ごとの短中期的な活動スケジュールは概ね以下の通りです。必要に応じてスケジュールを見直しながら活動を推進していきます。

大項目	小項目	2019年度						2020年度						2021年度						2022年度						2023年度					
		第1期						第2期						第3期						第4期						第5期					
		4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3		
全体の活動	総会・臨時総会		(設立) ●	(臨時) ●	(臨時) ●	(通常) ●								(通常) ●								(通常) ●					(通常) ●				
	理事会（4半期に1回程度）		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ホームページ立上		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コミュニティ・広報部会	シンポジウム		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	広報紙の作成・配布		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	コミュニティ・広報に関する方策の実践																														
空間活用部会	実践ゼミ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	実験的な空間活用																														
	国家戦略特区等の特例活用																														
	空間活用に関する方策の実践																														
	まちづくり計画作成		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
都市創造部会	まちづくりガイドラインの作成（ルールの見直し等）																														
	都市再生に関する方策の実践																														



### 3. 推進・連携体制

## 仙台駅東まちづくり協議会における推進体制及び各地域団体との連携体制



## 4. 推進方策・制度活用

本まちづくり計画で整理した内容については、機能誘導、建物更新、公共空間活用、まちづくりの担い手構築という4つの領域について推進方策、制度活用を検討、整理していく必要があります。

### （１）各種機能誘導：ガイドラインの作成、補助制度等の活用

- ・まちづくり計画において整理した各種機能の導入については、民間事業者等によって成されるものになります。本計画に基づく機能導入が成されるよう、ガイドラインの作成と共有、国や市の様々な支援制度の活用などの検討を進めていきます。
- ・また、交通や観光（循環バス、多言語案内、WiFi等）など地区全体に係る機能の導入については、仙台駅東まちづくり協議会と仙台市で議論を進めながら、国や市の各種支援制度の活用などを視野に入れながら、実施できる民間事業者と連携し、実現化に向けて検討を進めていきます。

### （２）建物の更新：都市再生に関する各種制度活用

- ・令和元年7月に仙台市が打ち出した「せんだい都心再構築プロジェクト」に基づく各種制度や既存制度の活用を検討を進めていきます。（例：都市再生緊急整備地域の区域拡大を前提とした都市再生特別地区の活用、総合設計制度の活用など）

### （３）公共空間の活用：道路占用特例制度、パークマネジメント制度の活用

- ・国家戦略特別区域法や都市再生特別措置法に基づく道路占用特例制度や道路法改正による「歩行者利便増進道路」を活用し、看板・広告塔、ベンチ、オープンカフェ、購買施設等の常設化について検討を進めていきます。
- ・仙台市の管理する公園（公園用地含む）において、パークPFI等のパークマネジメント制度等手法を活用した民間による新たな施設の整備・運営により、公園と周辺地域の賑わいと魅力の創出、質の高い維持管理による利用者の満足度の向上を図ることの検討を進めていきます。

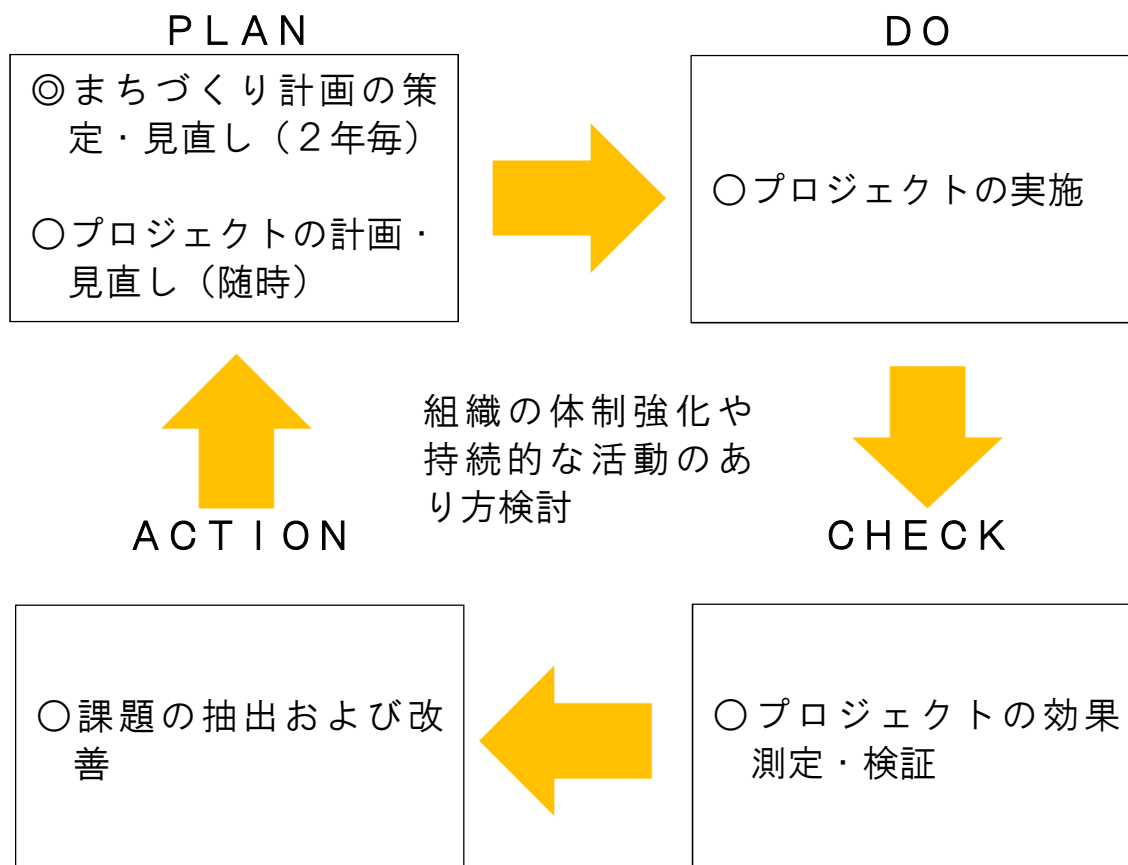
### （４）まちづくりの担い手構築：協議会の位置づけ強化（法人化等）及びハブとした活動展開

- ・各種の取組み展開にあたっては、本エリアのコミュニティの力を高めていく事が重要となりますが、それには、仙台駅東まちづくり協議会がハブとなっていく事が求められます。協議会がそういった存在となるよう、法人化及び都市再生推進法人の認定を受けることなど、協議会の信頼感や実行力を高めていく方策の検討を進めていきます。



## 5. 継続的・発展的な活動推進

今後は、プロジェクト実施による効果の検証や課題の抽出等を行い、必要に応じてまちづくり計画や実施方策を見直しながら、継続的・発展的にエリアマネジメント活動を推進していきます。



私たちが、仙台駅東エリアのまちづくりを推進します。

仙台駅東まちづくり協議会会員一覧（令和2年2月時点）

	会員の氏名又は名称	会員種別	役職
1	松栄不動産株式会社	正会員	理事長
2	仙台ターミナルビル株式会社	正会員	副理事長
3	株式会社ユアテック	正会員	副理事長
4	学校法人梅檀学園東北福祉大学	正会員	副理事長・都市創造部会長
5	株式会社ACM	正会員	理事
6	有限会社櫻井商店	正会員	理事・事務局長
7	株式会社サングラフィックス	正会員	理事・空間活用部会長
8	榴岡地区町内会連合会	特別会員	理事
9	林 伸一	正会員	理事
10	株式会社ヨドバシホールディングス	正会員	理事
11	株式会社七十七銀行仙台東口支店	正会員	監事
12	イシイ株式会社	正会員	監事
13	東日本旅客鉄道株式会社	正会員	
14	株式会社楽天野球団	正会員	
15	株式会社トスネット	正会員	
16	仙台駅東口商工事業協同組合	正会員	
17	宮城商事株式会社	正会員	
18	日本私立学校振興共済事業団 仙台ガーデンパレス	正会員	
19	株式会社高橋生花舗	正会員	
20	株式会社鳳月ビル	正会員	
21	小原 夫美雄	正会員	コミュニティ・広報部会長
22	千葉 真	正会員	
23	保原 民雄	正会員	
24	田端 満	正会員	
25	須山 悦郎	正会員	
26	東九番丁親交会	特別会員	
27	イーストレジデンス自治会	特別会員	
28	小田原東部振興会	特別会員	
29	降旗 武	賛助会員	
30	福司 憲道	正会員	
31	鹿島建設株式会社東北支店	賛助会員	
32	株式会社INA新建築研究所東日本支社	正会員	
33	有限会社ミドリ企画	賛助会員	
34	仙建工業株式会社仙台支店	賛助会員	
35	株式会社スタイルスグループ	正会員	
	その他、正会員 2者、賛助会員 1者	計38者（令和2年2月時点）	

（敬称略）